

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道159号 <small>なな お</small> 七尾バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局						
起終点	自：石川県七尾市川原町 至：石川県七尾市下町	延長	4.3km								
事業概要	一般国道159号七尾バイパスは、交通混雑の解消、交通事故の低減、能越自動車道七尾氷見道路へのアクセス向上などを目的とした延長4.3kmの道路事業である。										
H12年度事業化	H11年度都市計画決定	H12年度用地着手	H21年度工事着手								
全体事業費	約240億円	事業進捗率	52%	供用済延長	2.7km						
計画交通量	18,600～23,800台/日										
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 1.7	総費用 (残事業)/事業全体 163/237億円 事業費：132/206億円 維持管理費：30/30億円	総便益 (残事業)/事業全体 281/281億円 走行時間短縮便益：218/218億円 走行経費減少便益：41/41億円 交通事故減少便益：22/22億円	基準年	平成24年						
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">[事業全体] 交通量：B/C=1.0～1.3（交通量±10%）</td> <td style="width: 50%;">[残事業] 交通量：B/C=1.4～1.9（交通量±10%）</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=1.1～1.3（事業費±10%）</td> <td>事業費：B/C=1.6～1.9（事業費±10%）</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=1.2～1.2（事業期間±20%）</td> <td>事業期間：B/C=1.7～1.8（事業期間±20%）</td> </tr> </table>					[事業全体] 交通量：B/C=1.0～1.3（交通量±10%）	[残事業] 交通量：B/C=1.4～1.9（交通量±10%）	事業費：B/C=1.1～1.3（事業費±10%）	事業費：B/C=1.6～1.9（事業費±10%）	事業期間：B/C=1.2～1.2（事業期間±20%）	事業期間：B/C=1.7～1.8（事業期間±20%）
[事業全体] 交通量：B/C=1.0～1.3（交通量±10%）	[残事業] 交通量：B/C=1.4～1.9（交通量±10%）										
事業費：B/C=1.1～1.3（事業費±10%）	事業費：B/C=1.6～1.9（事業費±10%）										
事業期間：B/C=1.2～1.2（事業期間±20%）	事業期間：B/C=1.7～1.8（事業期間±20%）										
事業の効果等	<p>定性的な効果</p> <p>①大規模道路事業との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能越自動車道の七尾ICと七尾市街地や金沢方面との円滑な交通の確保が図られる。 <p>②日常活動圏中心都市へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活圏都市間の所要時間が短縮され利便性が向上することが期待できる。 <p>③重要港湾七尾港への物流円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢方面から七尾港へのアクセス性が向上し、物流円滑化が期待できる。 <p>④第三次医療施設へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能登地域唯一の第三次医療施設への30分圏域の拡大が見込まれる。 <p>⑤緊急輸送道路の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い道路ネットワークが形成され、能越自動車と一体となった緊急輸送道路としての機能強化が期待される。 <p>⑥地域連携プロジェクト（石川県長期構想）の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県の長期計画「ダブルラダー結いの道」整備構想の実現に大きく貢献。 										
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七尾市など3市3町で構成される国道159号建設促進期成同盟会等より整備の要望を受けている。 <p>知事の意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き事業を継続するとともに、コスト縮減に努めつつ着実に整備を進め、早期完成を図っていただきたい。 										
事業評価監視委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・審議の結果、再評価及び対策方針（原案）の「事業継続」は妥当である。 										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年2月に国道470号能越自動車道七尾氷見道路が全線暫定2車線で供用。 ・平成26年12月には国道249号藤橋バイパスが全線2車線で供用。 										

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成12年度事業化、用地進捗率85%、事業進捗率52%完了（平成27年3月末時点）
- ・平成26年度：七尾市古府町～同市下町間 延長2.7km（2/4）部分開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・引き続き早期供用を目指して事業を実施する。

施設の構造や工法の変更等

- ・施設の構造や工法等に変更は無いが、今後実施する詳細設計において、新技術を積極的に活用することでコスト縮減を図る。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

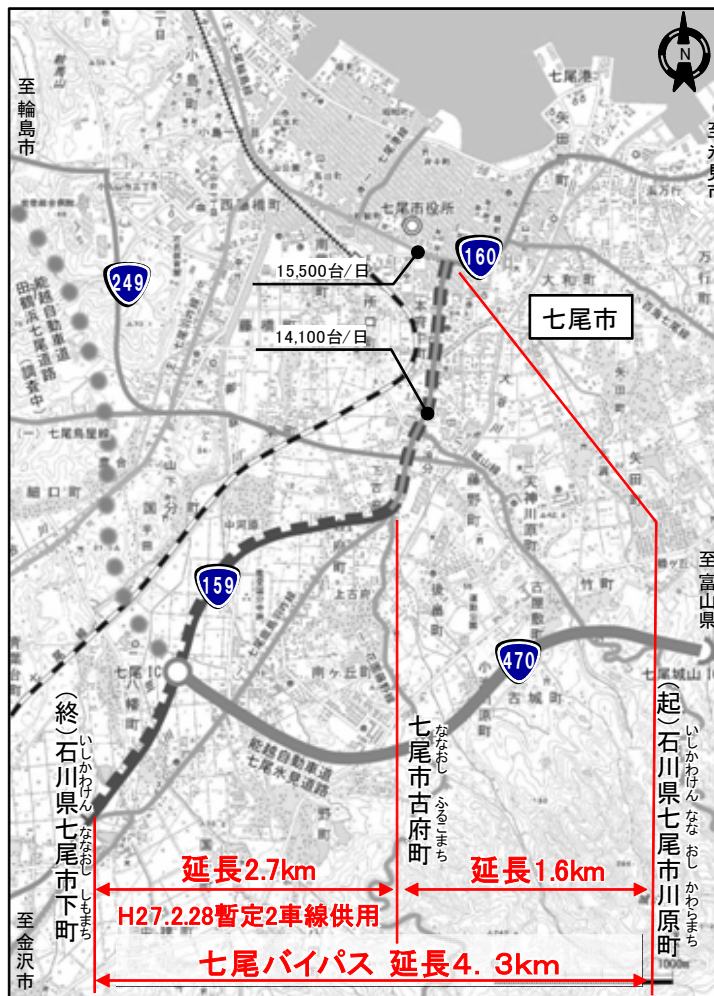
- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

【広域位置図】



【位置図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。